

# H.P感染胃炎と胃食道逆流症Update

## ～タケキャブ錠 新発売記念講演会～

日時: 2015年2月2日(月) 19:30～21:00

場所: 川崎日航ホテル 12階 東の間

川崎市川崎区日進町1番地 TEL 044-244-5941

製品紹介 「カリウムイオン競合型アシッドブロッカー タケキャブ錠について」  
武田薬品工業株式会社 川崎営業所 手島 一也

### 一般講演

#### 「HP感染胃炎に関する研究と除菌治療」

座長

花田 徹野 先生

医療法人社団徹英会 花田内科胃腸科医院 院長

演者

渡邊 嘉行 先生

総合川崎臨港病院 院長

### 特別講演

#### 「上部消化管疾患の診断と治療 ～悩みはどこまで解決できるか?～」

座長

玉井 博修 先生

川崎市立川崎病院 消化器内科 部長

演者

春間 賢 先生

川崎医科大学 消化管内科学教室 教授

ご提供いただきました個人情報は、講演会のご出席者の確認と連絡のために使用いたします。個人情報は共催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。また、弊社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理いたします。

会終了後、情報交換会をご用意しております。

共催



武田薬品工業株式会社



Otsuka 大塚製薬株式会社

## 特別講演 演者ご紹介

## 川崎医科大学 消化管内科学教室 教授 春間 賢 先生



昭和50年3月 広島大学医学部医学科卒業

昭和52年4月 広島大学第一内科に所属。

三好秋馬(みよし あきま)教授に師事し、消化管の形態診断及び胃酸分泌・消化管ホルモンを中心とした機能診断を学ぶ。  
昭和52年4月 国立松山病院(現国立病院機構四国がんセンター)にて、放射線科および臨床病理科に勤務し消化管の形態診断を学ぶ。

昭和63年11月 広島大学医学部第一内科講師

「ヘリコバクターピロリ及び消化管運動の研究」

平成8年8月 リオグランデ大学消化器科(ブラジル)客員教授

平成13年4月 広島大学医学部第一内科助教授

平成13年8月 川崎医科大学食道・胃腸内科 教授  
(現:消化管内科 教授)

《海外留学》

平成2年 ドイツ連邦共和国ハノーバー医科大学消化器科

平成4年 米国メーヨークリニック GI Research Unit

平成22年 英国オックスフォード大学消化器科

《資格》

日本内科学会指導医、日本消化器病学会指導医、

日本消化器内視鏡学会指導医

日本老年病学会指導医、日本消化器がん検診学会指導医

日本消化管学会胃腸科認定医、日本がん治療暫定教育医

《主な研究分野》

1. 消化器癌(食道, 胃, 大腸)の診断と治療
2. 胃炎・消化性潰瘍・GERDの病態と治療
3. 消化管の運動機能とその異常
4. 炎症性腸疾患の診断と治療
5. 超音波の消化管疾患への応用

## ご講演内容の概要

### 【胃酸関連疾患について】

1996年から2011年の15年間で消化性潰瘍は1/3程度まで減少したが、逆流性食道炎は6倍近くまで増加した。逆流性食道炎の増加には、H. pylori 感染率の低下、高齢化、肥満の増加、高脂肪食の摂取増加、内視鏡性能の向上や疾患に対する関心の高まりなどが関与している。

最近では「PPI抵抗性GERD」という病態が存在することが注目されている。逆流性食道炎では約20%がPPI抵抗性、非びらん性胃食道逆流症(NERD)では約50%の例でPPI抵抗性といわれている。原因としてPPIを使用しているが、十分な酸分泌抑制が行われていない結果、胃酸逆流に伴い、逆流症状が発生していることなどがあげられる。

### 【胃炎の京都分類について】

胃炎を診断する主たる目的は胃癌発生リスクとなる胃粘膜を評価することであるが、内視鏡機器の進歩とともに詳細な胃粘膜の観察が可能となった結果、軽微な胃粘膜変化も捉えられるようになった。内視鏡所見も数多く取り上げられるようになり、胃炎分類も複雑化していった。

日本においては萎縮性胃炎の木村・竹本分類、胃炎研究会の分類などが実地診療で用いられてきたが、海外と対応するには共通の尺度であるupdated Sydney systemを用いざるをえない状況にある。しかしながら、日本では、これまでの胃炎分類の長く詳細な歴史的背景があり、さらに萎縮性胃炎と胃癌の多発国であるため、胃癌のリスクを考えたうえでの胃炎診断が求められている。